

【p 28～ p 31】 アサザのさく池 一天満大池―

1 資料活用にあたって

- 長文のため、紙芝居や場面絵をもとに語り聞かせるなどの工夫をして、話の筋を理解させるとよい。
- 本資料は、身近な自然に親しみ、植物に優しい心で接しようとする意欲を育てようとするものである。低学年のD（18）の内容項目は、子どもの発達段階を考慮して、優しい心で動植物に接するということに主眼がある。自然環境を考えるのは高学年で、自然愛護、環境保全を考えるのは中学校の段階である。

2 資料の読み方のポイント

- 変化するのは：かずちゃん（子どもがかずちゃんになって考えられるように発問を工夫する。）
- 変化するきっかけ（助言）は：母の話
- 変化するところは：「そうだったのかあ。」
- ※ アサザの花をもう一度見たときに実践意欲が生じている。

3 読み物資料の素材について

【参考文献等】

- ・ 『天満大池のアサザの保護』 兵庫県三木土地改良事務所編
- ・ 『東播磨ため池マップ いなみ野ため池ミュージアム』 いなみ野ため池ミュージアム運営協議会事務局編
- 天満大池の概要
 - ・ 稲美町にある天満大池は675年に築造されたといわれ、兵庫県では最も古いため池である。
- アサザについて
 - ・ 天満大池には絶滅の恐れがある水生植物「アサザ」が生育している。兵庫県では天満大池や淡路など数カ所しか確認されていない。兵庫県版レッドデータブックによると、2009年にBランクに区分されるまではAランクとして絶滅危惧種に相当していた。そのため、保全の必要性が高い種であった。
 - ・ アサザはミツガシワ科の多年草で、夏には黄色い花を咲かせる。かつてはため池や水路などに群生していたが、池の埋め立て工事や水質の悪化などにより、ここ10年ぐらいの間に急速に減少してきた。
- 天満大池に生息する水生植物の保全について
 - ・ 天満大池から姿を消していたアサザが改修中の池で発見され、再び姿を現したことから、このアサザを保護しようと行政、自然保護団体、地域住民たちが協力し、地域あげてのアサザの保護活動が高まってきた。
 - ・ アサザはきれいな水辺の環境で育つ。アサザを育てることは、美しい自然環境を守ることにもつながっていく。

4 展開の具体例

アサザのさく池 ―天満大池―

- ・主 題 名 ・自然を大切に D (18)
- ・資料の概要 ・ある日、かずちゃんは、お母さんから天満大池の水面に咲くアサザがかつて絶滅したと
いうことを聞いて驚く。アサザを大切に育てたいと願う人たちの努力によって、再び生
息するようになったことを知ったかずちゃんは、今まで何げなく見ていたアサザの美し
さを再認識し、大事に守り育てようとする。
- ・ね ら い ・母から人々が守り育てた話を聞き、道徳的に変化するかずちゃんを通して、身近な自然
に親しみ、動植物を大切にしようとする道徳的实践意欲を育てる。
- ・展開の具体例

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応
導 入	・今日の資料に興味を持つ。	アサザという水草を知っていますか。
展 開	・資料の範読を聞きながら黙読をする。 ・アサザを持ち帰ろうとした主人公の気持ちを考える。 ・以前にアサザが池から消えたことを知った主人公の気持ちを考える。 ・お母さんの話を聞いたときの主人公の気持ちを考える。 ・アサザをもう一度見た時の主人公の気持ちを考える。	「かぶをもって帰ろうよ」と言った時、かずちゃんはどんなことを思ったのでしょうか。 ・きれいなアサザを自分の家でも見たいな。 「アサザがきえちゃったの？」と言ったかずちゃんはどんなことを思ったのでしょうか。 ・どうして消えちゃったのかな。 ・きっとみんなは悲しんだだろう。 「そうだったのかあ。」と言いながら、かずちゃんはどんなことを思っているのでしょうか。 ・何年も探し回ってたいへんだったんだね。 ・たくさんの人が力を合わせて育ててきたんだね。 ・みんながアサザを大切に守ってきたんだ。 アサザをもう一度見た時、かずちゃんはどんなことを考えていたのでしょうか。 ・アサザのかぶを持ち帰ろうとしたわたしは、アサザを大切にしようとしていなかったな。 ・わたしもアサザを守っていきたい。 ・みんなの心をつないでいるアサザを大切にしたい。
終 末	・感じたことを発表する。	感じたことを発表しましょう。

主人公は何気なく「もって帰ろう」と言ったことをつかませる。

アサザが消えてしまったことを不思議に思っている主人公の心を考えさせる。

お母さんの話がきっかけとなり、植物を大切にする意識が主人公に起こっていることをおさえる。

植物を大切にする意識が高まり、主人公が「私もアサザを大切にしよう」という実践意欲を強めていることをおさえる。